

# ヨルダン ウム・カイスの発掘調査 『特別企画展』と『シンポジウム』開催のお知らせ

主催 国土舘大学文化遺産研究プロジェクト  
(代表：イラク古代文化研究所教授 松本健)

私どもは、2004 年のユネスコによるイラク文化遺産保護国際調整委員会の提案を受け、国際協力機構(JICA)の要請に従い、イラク国の文化遺産の保全と復興に貢献する人材養成を目的とする研修事業に全面的に協力してまいりました。

この事業では、2005 年以来、ヨルダン国考古局よりウム・カイス遺跡の提供を受け、発掘調査を含む実際の研修プログラムを実施しています。またこれに合わせて文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業(学術フロンティア推進事業)「戦後イラクの社会基盤復興に生かす文化遺産学研究」(プロジェクト番号 F050051、研究代表 国土舘大学イラク古代文化研究所教授 松本健)の補助をいただき、これまでにウム・カイス遺跡に関する数々の調査成果を上げております。

国土舘大学イラク古代文化研究所では、この成果を広く公開するため、発掘調査で出土したローマ・ビザンチン時代の「コイン」と「文字瓦罫」の一部を考古局より借用し、付設の展示室において

「特別企画展 ヨルダン ウム・カイスの発掘調査 ～歴史を語るコインと文字瓦罫たち～」

(2010 年 9 月 6 日～12 月 22 日)を開催しているところです。

これに伴い、本事業と企画展に対する理解をより深める目的で、「シンポジウム～古代における東西の銭と文字瓦～」を開催することといたしました。当日のプログラムは以下のとおりです。

## ◎シンポジウム ～古代における東西の銭と文字瓦～

開催日：12 月 18 日(土曜日) 午前 9 時 50 分～16 時 20 分

場所：国土舘大学世田谷キャンパス梅ヶ丘校舎 34 号館 B301 教室

開会

9:50 主催者代表挨拶：国土舘大学文化遺産研究プロジェクト代表：松本 健

発表者紹介

個別発表・問題提起 (1 人 40 分)

10:00～10:40 東アジアの古銭……………宮澤知之 (佛教大学)

10:40～11:20 東アジアの文字瓦……………向井佑介 (京都大学人文科学研究所)

11:20～12:00 日本の古銭……………松村恵司 (文化庁)

12:00～12:50 休 憩

12:50～13:30 日本の文字瓦 ……………清水昭博 (帝塚山大学)

13:30～14:10 西アジアの古銭 ……………江添 誠 (東京工芸大学)

14:10～14:50 西アジアの文字瓦 ……………戸田有二 (国土舘大学)

14:50～15:00 休 憩

15:00～15:40 討論 (40 分程度)

15:40～16:10 問題の整理と今後の課題……………森 郁夫 (帝塚山大学)

16:10～16:20 総括 松本 健 (国土舘大学)

資料作成と会場の都合から当日の参加については 12 月 8 日までに、メール、電話または往復はがきでお申し込みいただければ幸いです。なお、お申し込みせずに参加される場合、座席や資料が足りなくなる場合がありますことをあらかじめご了承ください。

連絡先：国土舘大学イラク古代文化研究所 展示室

〒154-0022 東京都世田谷区梅丘 2-8-17 地域交流文化センター 2 階

TEL: 03-5451-1926 FAX: 03-5451-1927

E-mail: [mnishi@kokushikan.ac.jp](mailto:mnishi@kokushikan.ac.jp) (担当：西邑)